



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 日本電通株式会社

コード番号 1931 URL <http://www.ndknet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上 敏郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 森西 輝幸

TEL 06-6577-4114

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,573	△6.4	148	732.5	178	224.1	107	192.1
24年3月期第2四半期	10,222	△4.1	17	△67.1	55	△42.6	36	18.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 92百万円 (134.4%) 24年3月期第2四半期 39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.79	—
24年3月期第2四半期	2.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	14,627	8,716	59.4	711.67
24年3月期	15,777	8,733	55.2	710.68

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,685百万円 24年3月期 8,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,700	2.7	470	4.2	530	1.8	320	7.1	26.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	13,428,000 株	24年3月期	13,428,000 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,223,122 株	24年3月期	1,182,537 株
----------	-------------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	12,227,501 株	24年3月期2Q	12,590,622 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績とは異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
四半期連結受注高及び完成工事高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機や新興国の下振れリスクによる世界経済の減速および円高・株安の長期化によって厳しい雇用環境が続いており、国内景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主な事業領域であります情報通信分野におきましては、インターネットの社会基盤化等を背景に、高機能ブロードバンドサービスの拡大によりSaaS・クラウドコンピューティングの導入、スマートフォン・タブレット端末等の普及により超高速LTEサービスへの移行が本格化するなどユビキタスネットワーク社会が現実化しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、市場の変化に即応し、お客様サービスの更なる向上に努めるため、基幹システムであるN2システムを導入し、各グループ会社間の連携を強め、効率的なビジネス展開を全社で遂行するとともに、当期の重点施策である「受注拡大」「コスト削減」「人材育成」「安全・品質の向上」を着実に遂行するよう努めているところであります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、受注高は102億65百万円（前年同期比1.7%減）、売上高は95億73百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

損益面につきましては、生産性の向上や原価低減並びに経費削減に努めた結果、営業利益1億48百万円（前年同期比732.5%増）、経常利益は1億78百万円（前年同期比224.1%増）、四半期純利益は1億7百万円（前年同期比192.1%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当期より組織改編による管理体制変更に伴い、セグメント区分を変更しております。これに伴い前年同期値は新セグメントに組み替えております。

（通信設備エンジニアリング事業）

光サービス関連工事の減少ならびにインフラ設備関連工事等の減少等により、受注高は65億35百万円（前年同期比4.4%減）、売上高は58億37百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

（ICTソリューション事業）

国内景気が緩やかな回復基調にあるなか、顧客ニーズを取り込む営業を展開した結果、受注高は37億29百万円（前年同期比3.6%増）、売上高は37億35百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の財政状態は、総資産は146億27百万円で前連結会計年度末比11億49百万円の減少となりました。これは流動資産においては94億52百万円と、前連結会計年度末比10億80百万円減少し、固定資産が51億74百万円と、前連結会計年度末比69百万円減少したことによります。

流動資産の減少の主な要因は、「受取手形・完成工事未収入金等」が前連結会計年度末比16億1百万円減少したこと等であります。

固定資産の減少の主な要因は、「無形固定資産」が前連結会計年度末比58百万円減少したこと等あります。

負債の部は59億10百万円で、前連結会計年度末比11億33百万円減少しました。内訳は流動負債で前連結会計年度末比11億11百万円減少し、固定負債で前連結会計年度末比21百万円減少しております。

流動負債の減少の主な要因は、「支払手形・工事未払金等」が前連結会計年度末比8億91百万円減少したこと等であります。

固定負債の減少の主な要因は、「退職給付引当金」が前連結会計年度末比10百万円減少したこと等であります。

純資産は87億16百万円で前連結会計年度末比16百万円の減少となりました。主な要因としましては、「その他有価証券評価差額金」が前連結会計年度末比15百万円減少したこと等であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.2%から59.4%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、引き続き積極的な営業展開により受注拡大に向けた取り組みを強化してまいります。当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が予想されております。平成25年3月期連結業績予想につきましては、お客様の設備投資の減少や発注遅れなどの影響もあり、売上高は前回予想を下回る見込みであります。また、利益につきましても、売上高の減少に伴い、前回予想を下回る見込みであります。

平成25年3月期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,000	百万円 490	百万円 570	百万円 350	円銭 28.58
今回発表予想 (B)	22,700	470	530	320	26.22
増減額 (B-A)	△2,300	△20	△40	△30	—
増減率 (%)	△9.2	△4.1	△7.0	△8.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	22,097	451	520	298	23.87

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,628,602	2,398,690
受取手形・完成工事未収入金等	5,616,032	4,014,259
有価証券	1,256,517	1,256,706
未成工事支出金	717,994	1,457,436
商品	30,987	33,825
材料貯蔵品	6,819	7,609
その他	281,057	292,262
貸倒引当金	△5,247	△8,326
流動資産合計	10,532,764	9,452,463
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,214,101	2,214,101
その他(純額)	1,023,930	1,032,319
有形固定資産合計	3,238,031	3,246,420
無形固定資産	611,246	552,383
投資その他の資産		
投資有価証券	1,063,126	1,040,420
その他	350,297	353,495
貸倒引当金	△18,434	△17,771
投資その他の資産合計	1,394,989	1,376,143
固定資産合計	5,244,266	5,174,947
資産合計	15,777,031	14,627,411
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,053,162	2,161,551
短期借入金	2,000,000	1,800,000
未払法人税等	126,429	101,607
賞与引当金	151,291	194,008
工事損失引当金	13,314	18,861
その他	654,395	610,991
流動負債合計	5,998,593	4,887,019
固定負債		
退職給付引当金	641,700	631,080
負ののれん	14,740	7,370
その他	388,699	385,115
固定負債合計	1,045,140	1,023,567
負債合計	7,043,734	5,910,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,493,931	1,493,931
資本剰余金	1,428,916	1,428,916
利益剰余金	6,018,285	6,027,853
自己株式	△344,135	△355,431
株主資本合計	8,596,997	8,595,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,372	155,235
土地再評価差額金	△64,720	△64,720
その他の包括利益累計額合計	105,651	90,515
少数株主持分	30,647	31,039
純資産合計	8,733,297	8,716,824
負債純資産合計	15,777,031	14,627,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	10,222,979	9,573,316
売上原価	9,055,980	8,307,146
売上総利益	1,166,998	1,266,170
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	454,093	423,690
賞与引当金繰入額	74,517	69,625
退職給付費用	18,865	26,488
その他	601,625	597,387
販売費及び一般管理費合計	1,149,102	1,117,192
営業利益	17,895	148,977
営業外収益		
受取利息及び配当金	21,269	18,971
その他	29,988	21,883
営業外収益合計	51,258	40,855
営業外費用		
支払利息	9,702	9,085
不動産賃貸費用	3,633	—
その他	754	2,309
営業外費用合計	14,090	11,395
経常利益	55,063	178,438
税金等調整前四半期純利益	55,063	178,438
法人税、住民税及び事業税	32,053	95,820
法人税等調整額	△14,944	△25,266
法人税等合計	17,109	70,554
少数株主損益調整前四半期純利益	37,953	107,883
少数株主利益	1,142	351
四半期純利益	36,811	107,532

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37,953	107,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,632	△15,096
その他の包括利益合計	1,632	△15,096
四半期包括利益	39,586	92,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,258	92,395
少数株主に係る四半期包括利益	1,327	392

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	通信設備エンジ ニアリング事業	I C T ソリュー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,870,513	3,352,465	10,222,979	—	10,222,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,210	39,986	48,197	△48,197	—
計	6,878,723	3,392,452	10,271,176	△48,197	10,222,979
セグメント利益	410,671	36,781	447,452	△429,556	17,895

(注) 1 セグメント利益の調整額 △429,556千円には、セグメント間取引消去 △1,473千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △428,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	通信設備エンジ ニアリング事業	I C T ソリュー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,837,591	3,735,724	9,573,316	—	9,573,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,082	39,393	43,475	△43,475	—
計	5,841,673	3,775,118	9,616,792	△43,475	9,573,316
セグメント利益	380,169	213,572	593,741	△444,764	148,977

(注) 1 セグメント利益の調整額△444,764千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間より、日本電通株式会社の組織改編に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「通信エンジニアリング事業」「ICTサービス事業」から、「通信設備エンジニアリング事業」「ICTソリューション事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報」に記載しております。

- (2) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期連結受注高及び完成工事高の状況

(単位：百万円)

	部 門 別	平成24年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間		平成25年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間		比較増減	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
受 注 高	通信設備エンジニアリング事業	6,839	(65.5%)	6,535	(63.7%)	△ 303	△4.4%
	I C T ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	3,599	(34.5%)	3,729	(36.3%)	130	3.6%
	合 計	10,438	(100%)	10,265	(100%)	△ 173	△1.7%
売 上 高	通信設備エンジニアリング事業	6,871	(67.2%)	5,837	(61.0%)	△ 1,033	△15.0%
	I C T ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	3,351	(32.8%)	3,735	(39.0%)	384	11.5%
	合 計	10,222	(100%)	9,573	(100%)	△ 649	△6.4%